

【教育－1】事前評価

学校施設の建替事業（戸塚小学校）

（教育委員会事務局）

(様式2)

公共事業事前評価調書 (案)

事業概要	事業名	【教育－1】 学校施設の建替事業 (戸塚小学校)		
	場所 (所在地)	戸塚区戸塚町132番地		
	事業目的	戸塚小学校は一部の校舎が古く、老朽化しています。また、児童数急増に伴い教室不足が発生するため、学校施設の建替えを実施します。		
	事業内容	戸塚小学校の老朽化対策として、現敷地内に新校舎棟を整備します。		
		【現在の施設状況】(令和2年4月時点)		
		建設年度	昭和 34 年(1959 年)	
		最古の棟の築年数	61.0 年	
		屋内運動場築年数	46 年	
		平均築年数	38.4 年(H27 に増築した D 棟を除くと 46.1 年)	
		種別		数量
普通教室		27 教室		
個別支援教室		8 教室		
多目的室		4 教室		
音楽室や理科室等の特別教室		7 教室		
その他職員室等の管理諸室・体育施設等				
面積(整備水準)の小計		約 6,600 m ²		
総面積(廊下等の共用部込み)		約 10,000 m ²		
【新規整備内容(予定)】 敷地面積:約 14,766 m ²				
種別		数量		
普通教室		35 教室		
個別支援教室		10 教室		
特別支援教室		1 教室		
多目的室		4 教室		
音楽室や理科室等の特別教室		6 教室		
その他職員室等の管理諸室、体育施設等				
面積(整備水準)の小計		約 8,400 m ²		
総面積(廊下等の共用部込み)		約 13,200 m ²		
なお、D 棟(プール含む)は築年数が浅いため、本事業では建替えを見送ることとし、適宜必要な改修等を行います。				

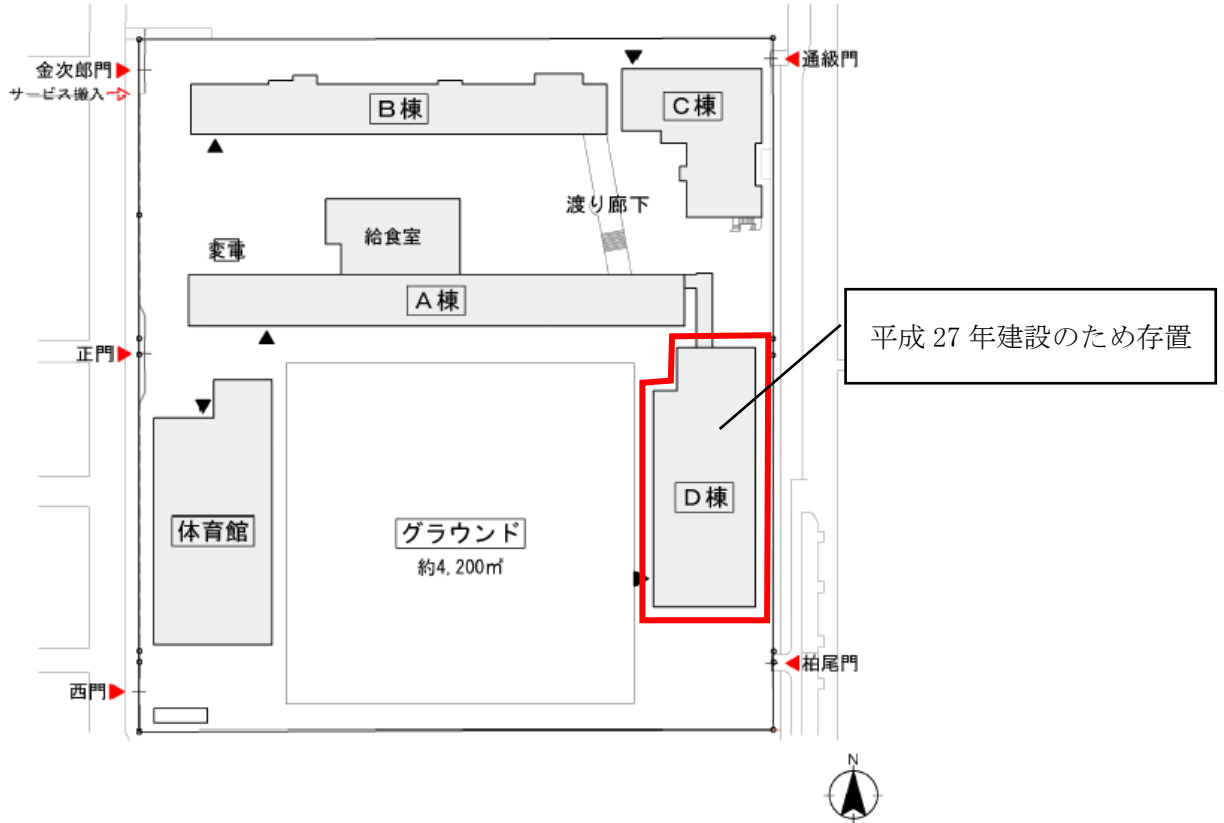
	<p>【位置図】</p>  <p>※横浜市行政地図情報提供 i マップより</p>												
<p>事業 スケジュール</p>	<p>R3～R5:基本計画、基本設計、実施設計 R6～R9:新築工事、既存校舎解体工事等 R10:供用開始 ※今後、変更になる可能性があります。</p>												
<p>総事業費</p>	<p>約 57.6 億円(うち国費約 11.0 億円) <u>※R2 年度算出。今後の精査により、変更が生じる場合があります。</u> ※内訳については四捨五入しており、合計金額と合致しないところがあります。</p> <table border="1" data-bbox="523 1366 1414 1697"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額(税込)</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計等委託費</td> <td>約 2.6 億円</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>約 48.9 億円</td> <td>新築工事費約 43.1 億円、既存教室改修費約 0.7 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円、仮設設置費約 2.9 億円</td> </tr> <tr> <td>解体費</td> <td>約 6.1 億円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※新築工事費 【校舎棟】 ・平米単価は 34.3 万円(税抜)で試算。(本市の H29 新築工事实績を基に、物価上昇率を見込み算出) ・34.3 万円(税抜)×約 9,936m²=約 34.1 億円(税抜)</p>	項目	金額(税込)	内訳	設計等委託費	約 2.6 億円	—	工事費	約 48.9 億円	新築工事費約 43.1 億円、既存教室改修費約 0.7 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円、仮設設置費約 2.9 億円	解体費	約 6.1 億円	—
項目	金額(税込)	内訳											
設計等委託費	約 2.6 億円	—											
工事費	約 48.9 億円	新築工事費約 43.1 億円、既存教室改修費約 0.7 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円、仮設設置費約 2.9 億円											
解体費	約 6.1 億円	—											

		<p>【通級棟】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平米単価は 42.2 万円(税抜)で試算。(本市の H28 通級棟新築工事実績を基に、物価上昇率を見込み算出) ・42.2 万円(税抜)×約 1,200 m²=約 5.1 億円(税抜) <p>計 (約 34.1 億円+約 5.1 億円)×1.1=約 43.1 億円(税込)</p>																																																				
事業の必要性		<p>① 必要性</p> <p>本市では、学齢期人口の急増に対応し、昭和 40 年代から 50 年代にかけて学校施設を集中的に整備してきたため、現状では5割以上の学校が築後 40 年以上経過しています。</p> <p>そのため、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針(平成 29 年5月策定)」及び「横浜市公共建築物の再編整備の方針(平成 30 年2月策定)」に基づき、教育委員会事務局内で開催された建替対象校選定会議において、戸塚小学校を建替対象校として選定しました。</p> <p>・事業費算出の根拠とした児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R2.4 時点)</p> <table border="1" data-bbox="494 981 1412 1126"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">戸塚小</td> <td>児童数</td> <td>896</td> <td>911</td> <td>923</td> <td>969</td> <td>1,030</td> <td>1,093</td> <td>1,152</td> </tr> <tr> <td>学級数</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考)</p> <p>・直近の児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R3.4 時点)</p> <table border="1" data-bbox="494 1265 1412 1411"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">戸塚小</td> <td>児童数</td> <td>884</td> <td>886</td> <td>925</td> <td>976</td> <td>1,035</td> <td>1,100</td> <td>1,117</td> </tr> <tr> <td>学級数</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <p>学級数については、「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」の一部改正により、令和3年度から令和7年度までの間に、第2学年から第6学年まで段階的に 35 人とする事となりました(第2学年までは実施済み)。</p> <p>35 人学級化の影響及び通学区域である戸塚駅周辺におけるマンション開発により、児童数が急増する見込みがあり、教室不足に対応する必要があります。令和9年まで増加傾向となっており、最大 35 教室の普通教室が必要になります。</p> <p>当校には通級指導教室^{※2}を設けております。これは市内小・中・特別支援学校 22 校に設置されており、戸塚区では本校のみとなります。</p> <p>※2 小中学校の一般の学級に在籍する軽度の障害がある児童生徒が、障害に応じた特別な指導を受けるための教室</p>			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	戸塚小	児童数	896	911	923	969	1,030	1,093	1,152	学級数	27	27	28	30	32	34	35			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	戸塚小	児童数	884	886	925	976	1,035	1,100	1,117	学級数	26	26	28	30	32	34	35
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																														
戸塚小	児童数	896	911	923	969	1,030	1,093	1,152																																														
	学級数	27	27	28	30	32	34	35																																														
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																														
戸塚小	児童数	884	886	925	976	1,035	1,100	1,117																																														
	学級数	26	26	28	30	32	34	35																																														

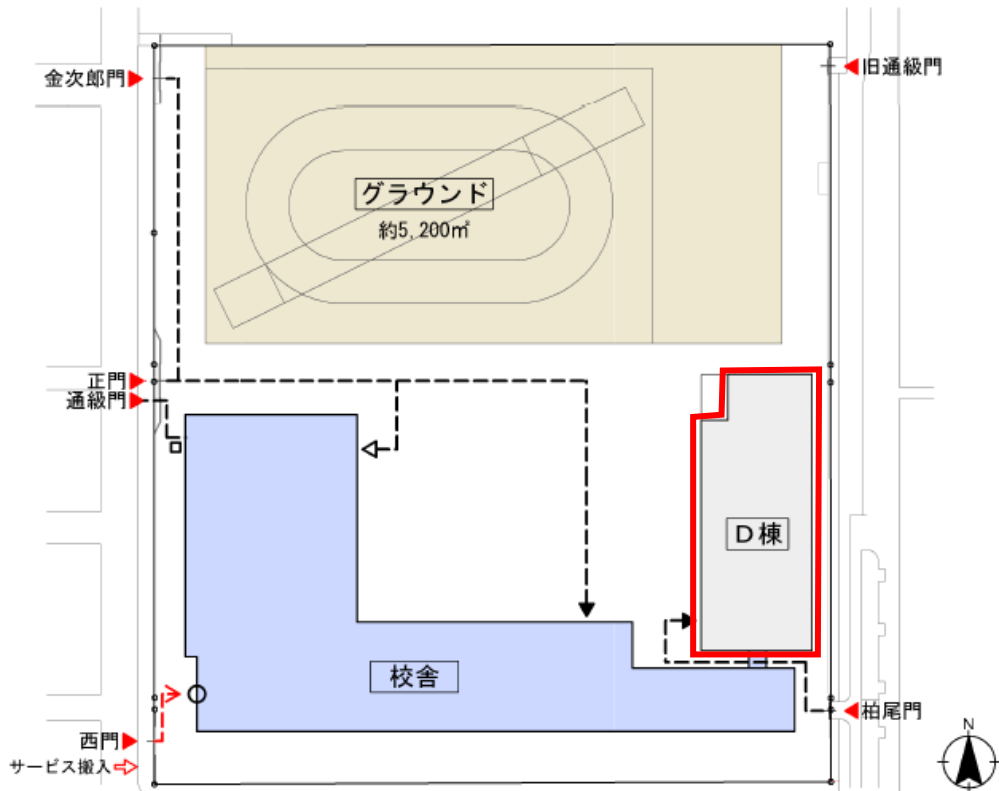
	<p>②上位計画における位置付け</p> <p>(横浜市中期4か年計画2018～2021 政策26:子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり 主な施策(事業)1:計画的な学校施設の建替え)</p> <p>「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、各対象校の建替えが最善の形で進められるよう、建替えの実施に必要な基本構想や設計を進め、工事に着手します。</p> <p>(第3期横浜市教育振興基本計画2018-2022 柱9:安全・安心な環境 施策2:学校施設の計画的な建替えの推進 主な取組:①学校施設の計画的な建替え)</p> <p>学校施設の建替えの実施に向けて、国費の導入に必要な調査等を実施します。また、新しい学習内容を柔軟に取り入れられるように配慮しながら、長期的な視野を持ち、学校関係者や地域の方の意見を踏まえて、建替えを進めます。</p> <p>③適地性</p> <p>戸塚小学校以外の敷地で、小学校の整備に必要な面積を確保できる市有地が近隣にないため、現敷地での整備としました。</p>
<p>事業の効果 (費用便益分析等)</p>	<p>① 定性的事項について</p> <p>本事業の実施により、適切な施設整備をすることとなり、児童の安全・安心及びより良い教育環境を確保することができます。</p> <p>② コスト削減の取組みについて</p> <p>仮設校舎を設置する場合でも、必要最低限の教室数を設置するプランを検討・提案し、学校関係者、地域の代表者による検討会でもその方向性について了解を得ています。</p> <p>③ 防災面について</p> <p>内水ハザードマップの最大浸水が1m未満(一部2m未満)、洪水ハザードマップの最大浸水が5m未満(一部3m未満)のため、体育館や職員室、電気室等を2階以上にあげた設計を検討します。</p> <p>災害時に利用可能な蓄電池などの一部設備を導入する予定です。</p> <p>浸水想定区域がかかる場合は、関係局と調整し、必要に応じて調整池等を整備します。</p>
<p>環境への配慮</p>	<p>① 「横浜市の公共建築物における環境配慮基準」に基づく整備の実施</p> <p>低炭素社会に対応した環境への配慮や省エネルギー対策など、横浜市建築物環境配慮制度(CASBEE 横浜)が A ランク以上の水準になるよう定めています。</p>

	<p>② 木材の利用の促進</p> <p>本市の公共建築物における木材利用の促進に関する方針を踏まえ、内装等の木質化等を進めます。</p>
地域の状況等	<p>学校関係者、地域の代表者による検討会を設置し、ご意見をいただきながら基本構想を策定しました。</p> <p>【検討会】</p> <p>第1回:令和2年9月 15 日(火)</p> <p>第2回:令和2年12月 24 日(木)</p> <p>第3回:令和3年4月 30 日(金)</p>
事業手法	公共発注方式とします。
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・別紙1 校舎配置図 ・別紙2 ハザードマップ ・別紙3 現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について (R2.4時点)
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針(平成29年5月) <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/saku/gakko/tatekae/hoshin.html</p>
担当部署	教育委員会事務局教育施設課 (TEL 045-671-3531)

【戸塚小学校既存校舎配置図】



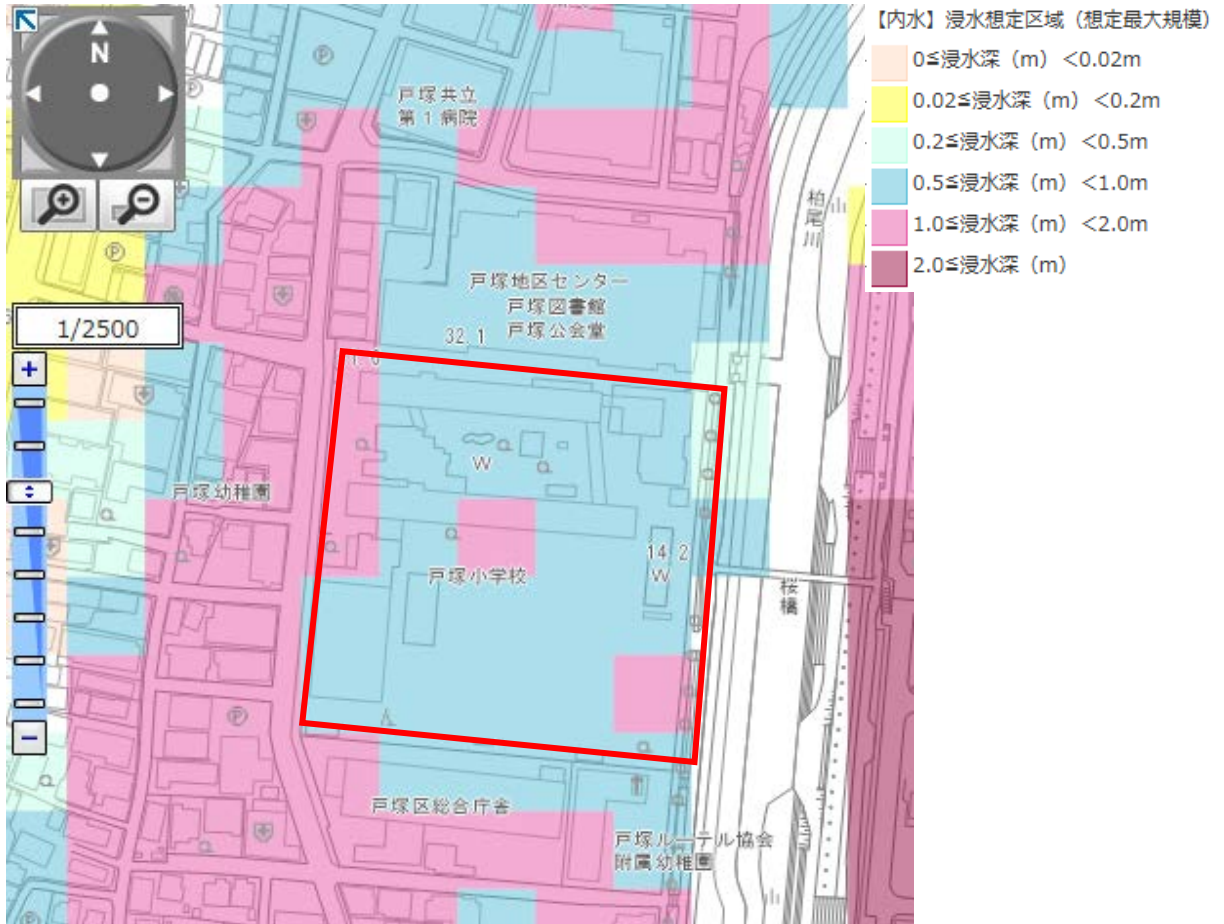
【整備イメージ図】



【凡例】

- ▲ 児童出入口
- △ 地域開放出入口
- 給食搬出入口
- 通級出入口

【内水ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (内水) より

【洪水ハザードマップ】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (洪水) より

【土砂災害ハザードマップ (1/2500)】



※横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (土砂災害) より

現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について(R2.4時点)

種別	室名		整備水準(小学校35CR)		整備前(現況)		整備後(予定)		
			CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数	面積 (㎡)	CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	
教室	1	普通教室	学級数	/	27.0	1728.0	35.0	2240.0	○(D棟5CR分)
	2	個別支援教室	学級数	/	8.0	512.0	10.0	640.0	
	3	特別支援教室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0	
特別教室	4	理科教室	4.0	256.0	2.0	128.0	4.0	256.0	
	5	音楽教室	4.0	256.0	1.5	96.0	4.0	256.0	
	6	家庭科教室	2.0	128.0	2.0	128.0	2.0	128.0	
	7	図画工作教室	2.0	128.0	2.0	128.0	2.0	128.0	
	8	図書室	2.0	128.0	2.0	128.0	2.0	128.0	○
	9	コンピューター教室	/	/	1.0	64.0	/	/	
多目的室	10	教育相談室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	○
	11	多目的室(水廻り学習等)	1.5	96.0	2.0	128.0	2.0	128.0	○
	12	多目的室(集会・発表等)	2.0	128.0	2.0	128.0	2.0	128.0	○
	13	多目的室(少人数指導)	3.0	192.0	2.0	128.0	3.0	192.0	
管理諸室	14	多目的室(学校指定)	3.0	192.0	1.0	64.0	3.0	192.0	
	15	校長室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	16	職員室	3.5	224.0	2.5	160.0	3.5	224.0	
	17	事務室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	18	保健室	1.0	64.0	1.0	64.0	1.0	64.0	○
	19	保健相談室・教材教具室①	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	○
	20	放送・スタジオ室	0.5	32.0	1.0	64.0	0.5	32.0	▲
	21	会議室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0	
	22	印刷室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	23	職員更衣室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	24	技術員室・湯沸室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	25	休養室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
	26	職員・来校者用玄関	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	27	教材教具室②	1.5	96.0	1.0	64.0	1.5	96.0	
	28	変電室	1.0	64.0	別棟	/	1.0	64.0	
その他	29	倉庫	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	30	PTA会議室	0.5	32.0	0.5	32.0	0.5	32.0	
	31	地域交流室	0.5	32.0	1.0	64.0	0.5	32.0	▲
	32	児童更衣室	1.0	64.0	0.5	32.0	1.0	64.0	
	33	昇降口	2.5	160.0	2.5	160.0	2.5	160.0	
	34	キッズ	2.0	128.0	1.5	96.0	2.0	128.0	
	35	給食室	/	350.0	/	333.0	/	350.0	
	36	EV	/	1基	/	1基	/	2基	○(1基はD棟分)
	37	屋内運動場(アリーナ面積)	/	1080.0	/	698.0	/	1080.0	
					約6,600		約8,400		
その他	39	プール	/	適宜	/	520.0	/	520.0	○
	40	共用部(トイレ・廊下・階段等)	/	適宜	/	2900.0	/	適宜	

- …整備前から増加
- ▲ …整備前から減少
- …既存利用(D棟)